

W-786 取扱説明書

W786-z-2206

お買い上げありがとうございます。
ご使用前に本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱い
下さいませようお願い申し上げます。
本取扱説明書はお手元に保管して下さい。

- 印刷による制限のため、本取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合があります。
- 本製品によって生じた、いかなる支出・損益・その他の損失に対して何ら責任を負いません。
- 本取扱説明書を製造者の許可なく変更・複製することを禁じます。

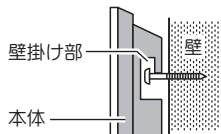
製品仕様 (改良のため予告なく変更する場合があります。)

- 時間精度: 平均月差 ±30 秒以内 (気温 25℃で使用した場合)
(電波時計による時刻修正を行わない場合)
- 表示精度: ±1 秒以内 (電波受信による時刻修正の直後)
- 使用温度範囲: 0 ~ +40℃ ※結露なきこと
(外觀 / 機能に支障無く、連続使用可能な温度範囲)
- 使用推奨電池: 単3形アルカリ乾電池 (LR6 1.5V) 2個
- 電池寿命: 約 12 ヶ月 (単3形アルカリ乾電池 2 個使用の場合)
- 電波受信: 40kHz/60kHz のどちらか受信しやすい電波を受信し、
現在時刻に合わせる
●自動受信 (最多 4 回 / 1 日) ●手動受信
- カレンダー表示: 2020 年 1 月 1 日 ~ 2099 年 12 月 31 日 (フルオート)
- 六曜表示: 2020 年 1 月 1 日 ~ 2050 年 12 月 31 日 (フルオート)
(2051 年から六曜は表示しません)
- 第何曜日表示: 2020 年 1 月 1 日 ~ 2099 年 12 月 31 日 (フルオート)
- 日送り機能
- 時刻表示: 12 時間制表示
- 置掛両用: スタンド付

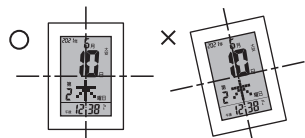
カレンダー/時計の掛け方について

注意 掛け方が不適切な場合、落下する危険があります。

- 掛け具に時計を掛けた際に、時計本体を上下・左右・前後に軽く動かして、
確実に掛かっていることを確認して下さい。
 - 時計は垂直・水平に掛けて下さい。時計に傾きがあると時計の精度や機能が
正常に働きません。
 - ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に掛けて下さい。
 - 落下の原因になりますので、壁掛け部以外には掛けしないで下さい。
 - 壁の裏側に電気配線等がある場所に取り付けると掛け具で電気配線等を
傷つけ、火災・感電につながる恐れがあります。事前に電気配線等の位置を
確認し、取り付けて下さい。
 - 壁の材質・構造を確認の上、この時計の重さに充分耐えられる掛け具を選
んで下さい。
- ※材質・構造がご不明の場合は、建築メーカー等へ相談して下さい。



<正しい掛け方>



電波時計について

電波時計とは
標準電波を受信して自動で時刻を修正する機能を持つ時計です。
※電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で計時します。

標準電波とは
情報通信研究機構 (NICT) が運用している時刻情報をのせた電波です。標準電波送信所
は、福島県の「福島県:おたかどや山標準電波送信所」と、佐賀県と福岡県の県境にあ
る「九州:はがね山標準電波送信所」の国内2か所にあります。
※標準電波の時刻情報は、およそ 10 万年に 1 秒の誤差という精度の「セシウム原子時計」
によるものです。

標準電波の送信停止について

標準電波は毎時 15 分と 45 分から各 1 分間は一部の時刻情報の送信が中断されます。
また、送信所の定期点検や落雷などの影響により停波 (送信停止) することがあります。
標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

日本国外でのご使用について

本製品は、日本の標準電波以外は受信できません。海外で使用した場合、ご使用になる
場所の条件により日本の標準電波を受信したり、ノイズにより誤った日時を表示する場
合があります。あらかじめご了承ください。

電波の受信範囲について

送信所からおおむね半径 1000km とされています。

※電波を受信できない場合は、
内蔵クォーツの精度で計時します。



電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近く、交通量の多い場所など電波障害の起きやすいところ
 - ビルの中、ビルの谷間、山など電波を遮るものの近く
 - 鉄筋、鉄骨の建物の中や地下
 - 金属製の雨戸やブラインドの近く
 - 高圧送電線、ラジオやテレビの送信所の近く
 - 自動車、電車、飛行機などの中
 - 家電製品やOA機器、蛍光灯などの照明器具の近く
 - スチール機などの金属製家具の上や近く
 - 朝・夕の時間帯や雨天のとき
- ※電波障害などにより誤った電波を受信し、時刻を誤表示する場合は、リセット操作を
行い使用する場所を変更してご使用下さい。

標準電波についての詳しい情報は「情報通信研究機構」のホームページ内の「日本標準
時グループ」を参照して下さい。

情報通信研究機構 ホームページアドレス <https://jy.nict.go.jp>

液晶表示について

- 液晶表示は角度により見えにくくなります。
- 温度が低くなると液晶表示の反応が遅くなる場合があります。
- 0 ~ +40℃の温度範囲を超えると、液晶表示が見えにくくなること
があります。
- 液晶表示板は5年を過ぎるとコントラストが低下し、表示が見えにくく
なる場合があります。
- 液晶表示が部分的に黒くなる場合がありますが、静電気による一時的な
現象です。しばらくそのままにしておくと、元に戻ります。

リセット操作について

電池を電池ホルダから外した直後は静電気や内部に残っている電流により
誤動作 (誤表示) する場合があります。電池を入れる前に、液晶表示に何も
表示されていないことを確認してから新しい電池を2個入れて下さい。

静電気の影響

静電気の影響により、正常に動かなくなることがあります。このような場合、
リセット操作をして下さい。

六曜表示について

六曜とは暦注の一つで、先勝・友引・先負・仏滅・大安・赤口の6種類があります。
※本製品の六曜表示は、2020年~2050年まで表示します。2051年からは
表示しません。

※2033年~2034年の間は、旧暦の法則では月名が決定出来なくなるため
本製品は代替えの基準を適用しています。このため、六曜の表示が他のカレ
ンダーと異なる場合があります。

※六曜は慣習として使われていますが、公的機関が定めたものではありません。

電池の交換について

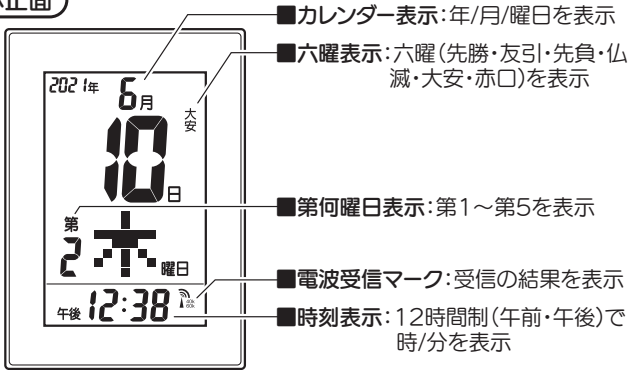
電池容量が少なくなると、液晶表示が薄くなったり、歪んだり、見えにくくなる
ことがあります。このような場合は、速やかに同じ種類の新しい電池に2個同
時に交換して下さい。

※古い置き電池を使用した場合、乾電池に示されている「使用推奨期限」や
保管状態により、電池寿命が短くなる場合があります。

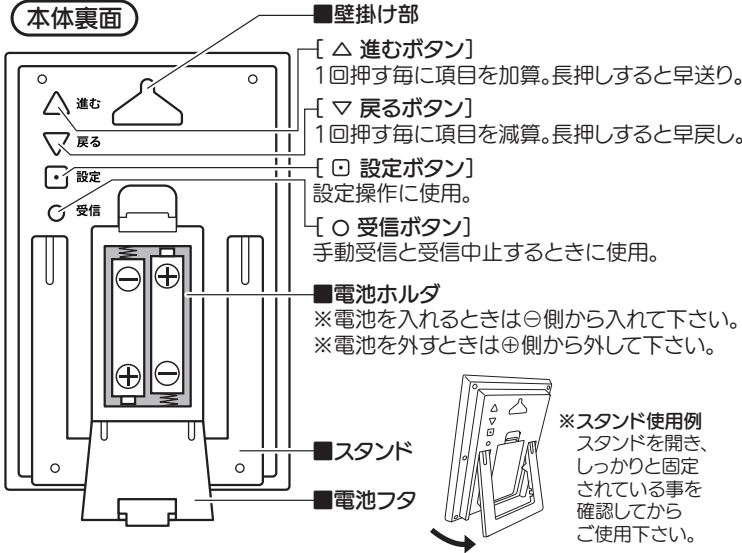
※カレンダー・時計が動いている場合、製品仕様欄に記載の電池寿命を目安に
定期的に電池を2個同時に交換して下さい。

各部の名称

本体正面



本体裏面



ご使用方法

①表示ラベルを剥がす

※ラベルを剥がす際に、液晶表示が部分的に黒くなる場合がありますが、静電気による一時的な現象です。しばらくそのまましておくと、元に戻ります。

②電池を入れる

電池フタを開けて単3形乾電池2個を、電池ホルダの⊕⊖の表示に合わせて入れ、電池フタを閉じる。
 →電池を入れると液晶面が表示され、電波の受信を開始します。
 ※受信中は電波受信マークが点滅します。
 ※受信には最長12分かかります。

③受信の結果を確認する

本書「受信の状態について」を参照。

- 受信に成功すると、電波受信マークが点灯し、自動的に日付と時刻を修正して表示します。
- 受信に失敗すると、電波受信マークは消灯します。日付と時刻は修正されません。

電波受信ができなかった場合は…

①手動で日付・時刻を設定し、朝までそのまましておく

本書「手動で日付・時刻を設定する」を参照して、現在時刻に合わせて日付と時刻を設定し、一晩そのままにしておく。
 一般的に夜間は電波状態が良くなるので、一晩そのままにしておく、受信できる可能性が高くなります。

②設置場所を変える/受信をやり直す

本書「電波時計について」の「電波を受信しにくい環境」と「手動受信について」を参考に、設置場所を変えて、再度、受信をさせる。
 ※電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で計時します。

自動電波受信機能について

本製品は、日付・時刻を修正するために、毎日、内蔵プログラムにより自動電波受信を行います。電波を受信できない場合、内蔵クォーツの精度で計時し、次の自動受信時間に再び電波受信を行います。(最多4回/1日)

手動で日付・時刻を設定する

W786-z-2206

注意

※電波受信中(受信マークの点滅中)に手動による日付・時刻設定を行うと電波の受信がキャンセルされます。
 ※設定中の点滅は約30秒以内です。この間に操作を何もしないと点滅が終了して通常表示に戻ります。

①□設定ボタンを3秒以上押し続ける。

→日付・時刻設定モードに入り[年(西暦)]が点滅します。

②△進む、▽戻るボタンを押して[年(西暦)]を設定する。

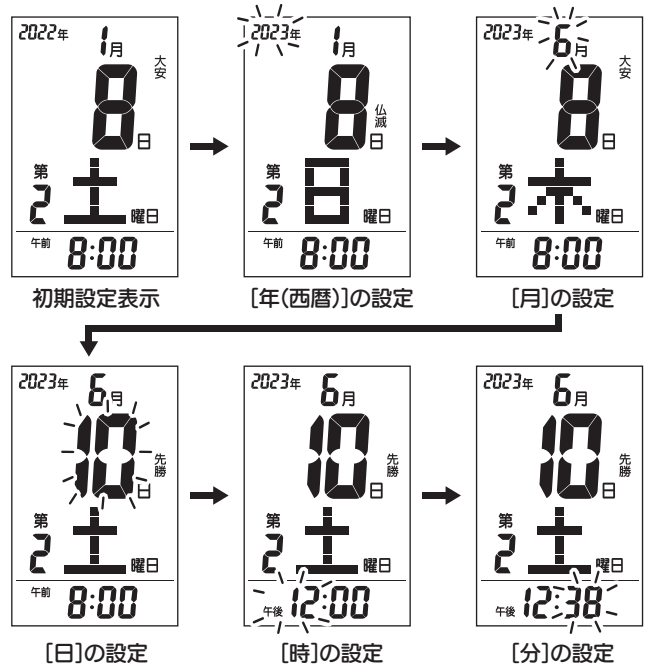
③□設定ボタンを押す毎に[年(西暦)]→[月]→[日]→[時]→[分]が点滅します。△進む、▽戻るボタンを押してそれぞれを設定し、□設定ボタンを押して次の設定に進みます。

※[秒]は、[分]の設定時に△進む、▽戻るボタンを押すごとに00秒に設定されています。(本製品に[秒]の表示はありません。)

④[分]の設定が終了したら□設定ボタンを押す。

→点滅が終了し、設定された日付と時刻が表示されたら完了です。

【例】2023年6月10日(土)午後12時38分を設定する場合



受信の状態について(受信マークの表示例)

- 点滅中 ■受信中(電波を探している状態)です。
- 点灯 ■受信に成功して日付/時刻修正を終了しています。
* 次の受信開始まで点灯し続けます。
- 消灯 ■受信に失敗して終了しています。
* 次の受信開始(点滅)まで、表示されません。

手動受信について

電波受信が終了(電波受信マークが点灯、または消灯)しているときに○受信ボタンを3秒以上押し続けると、電波受信を開始します。
 ※電波受信中に○受信ボタンを3秒以上押し続けると電波受信を終了します。

日送り機能について(未来、過去の曜日等を確認)

●日送り機能とは、未来、過去の曜日や六曜等を簡単に確認できる機能です。

①通常表示のとき、△進むボタン、もしくは、▽戻るボタンを1回押す。
 →日送り機能モードに入り[日]が点滅します。

②△進むボタンを1回押す毎に1日進む。

▽戻るボタンを1回押す毎に1日戻る。

③□設定ボタンを押すと通常表示に戻ります。
 ※何も操作をしなくても約60秒後に通常表示に戻ります。

【例】2023年6月10日(土)を当日とした場合

